



技術と共に向上する

② 松村石油株式会社

本社 大阪市北区西天満2丁目8番5号

SP5101001D

バーレルシリコーンフルード P51-100 フェニル系耐寒・耐熱用オイル

はじめに

バーレルシリコーンフルードP51-100は、メチルフェニルポリシロキサン構造を持ち、既存化学物質番号7-474に登録された無色透明な液体です。ジメチル系シリコーンオイルに比べ、耐熱性・耐酸化性に優れています。

また、流動点が低く、蒸気圧も低いので熱媒体液、制動液、マンメータ、潤滑液などとして広く産業界に利用されています。

特長

- (1) 無色透明な液体である。
- (2) 粘度指数が高く、温度による粘度変化が小さい。
- (3) 引火点が高く、難燃性である。
- (4) 蒸気圧が非常に低く、蒸発減量が小さい。
- (5) 低温特性、耐熱性、耐酸化安定性に優れている。
- (6) 剪断安定性に優れている。
- (7) 表面張力が小さい。
- (8) 撥水性が高い。
- (9) 低毒性である。
- (10) 無味、無臭である。
- (11) 化学的に不活性である。

使用温度範囲

◎開放系で、-60~200℃の温度範囲で使用できます。

代表性状

項目	バーレルシリコーンフルード® P51-100		
外観	無色透明		
密度	25℃	kg/m ³	992
引火点	COG	℃	300以上
動粘度	25℃	mm ² /s	100
酸価		mgKOH/g	0.00
流動点		℃	-60以下
表面張力	25℃	mN/m	24.1
屈折率	25℃		1.425
粘度温度係数			0.62
膨張係数		1/℃	9.6 × 10 ⁻⁴
蒸発減量	250℃ × 4h	%	2.5
	250℃ × 48h	%	10.0
圧縮率	34.5MPa	%	2.85
	138MPa	%	7.95
発火点		℃	482
ゲル化時間	250℃	h	240

荷姿

1kg缶、18kg缶、180kgドラム缶

(1999.09)

図1. BSF P51-100のゲル化時間-温度の関係

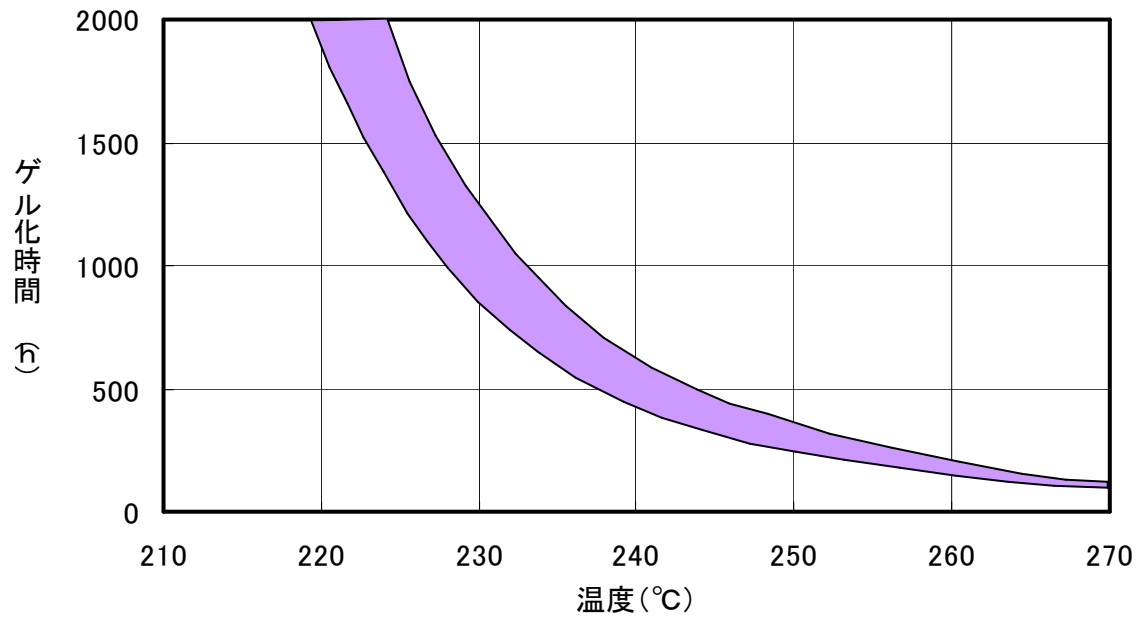


図2. BSF P51-100の蒸発減量-温度の関係

